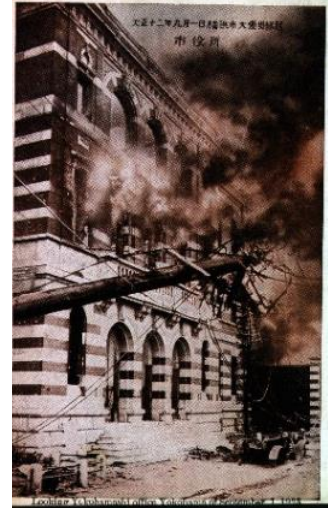


がいこく しょうがくせい ちゅうがくせい たいしょうばん
外国につながる小学生・中学生 対象版



01.02.03

げんさいこうどう
「減災行動のススメ」



か か えぬぴーおーほうじん ちきゅうがっこう
書き換え : NPO法人 地球学校

ちきゅう こきょうしつ
地球っ子教室

げんさいこうどう
減災行動
すすすめ
のススメ
もくじ



にほん ちか おお ぶれーと ようごせつめい きょうかい
日本の近くには、4つの大きなプレート①（用語説明 P.27）の境界があります。

おお じしん なんかい お
だから、大きな地震が何回も起きています。

じしん にほん す お さいがい
地震は、日本に住んでいるとよく起きる災害です。

じしん お まえ こうどう
1 地震が起きる前にする行動

**3～15
ページへ**

じしん お とき こうどう
2 地震が起きた時にする行動

**16～22
ページへ**

じしん お あと こうどう
3 地震が起きた後にする行動

**23～26
ページへ**

こうどう かんが
3つの行動を考えましょう。

ようごせつめい
：用語説明 27～28 ページ

ひょうしき まーく
：標識やマーク 29～30 ページ

いま お じしん なん
 今までに、起きた地震からわかることは何でしょう？

かんとうだいしんさい
関東大震災

キーワード

かさい かじ
「火災」：火事

04



(大正12年1月1日) 関東大震災の被害の様子

たいしょう ねん がつついにち じ ぶん
 大正12（1923）年 9月1日 11時58分

じしん お かじ
 地震が起きると火事になることがあります。

じしん ひる はん つく お
 この地震は、お昼のご飯を作っているときに起きました。

いえ りょうり そと つよ かぜ ふ
 たくさんの家で料理していたし、外では強い風が吹いてい

かじ お
 たので、火事がたくさん起きました。

はんしん・あわ じ だいしんさい
阪神・淡路大震災

キーワード

とうかい いえ びる こわ
「倒壊」：家やビルが壊れる

05




へいせい ねん がつ にち じ ぶん
 平成7（1995）年 1月17日 5時46分

じしん いえ たてももの こわ
 地震で家や建物が壊れることがあります。

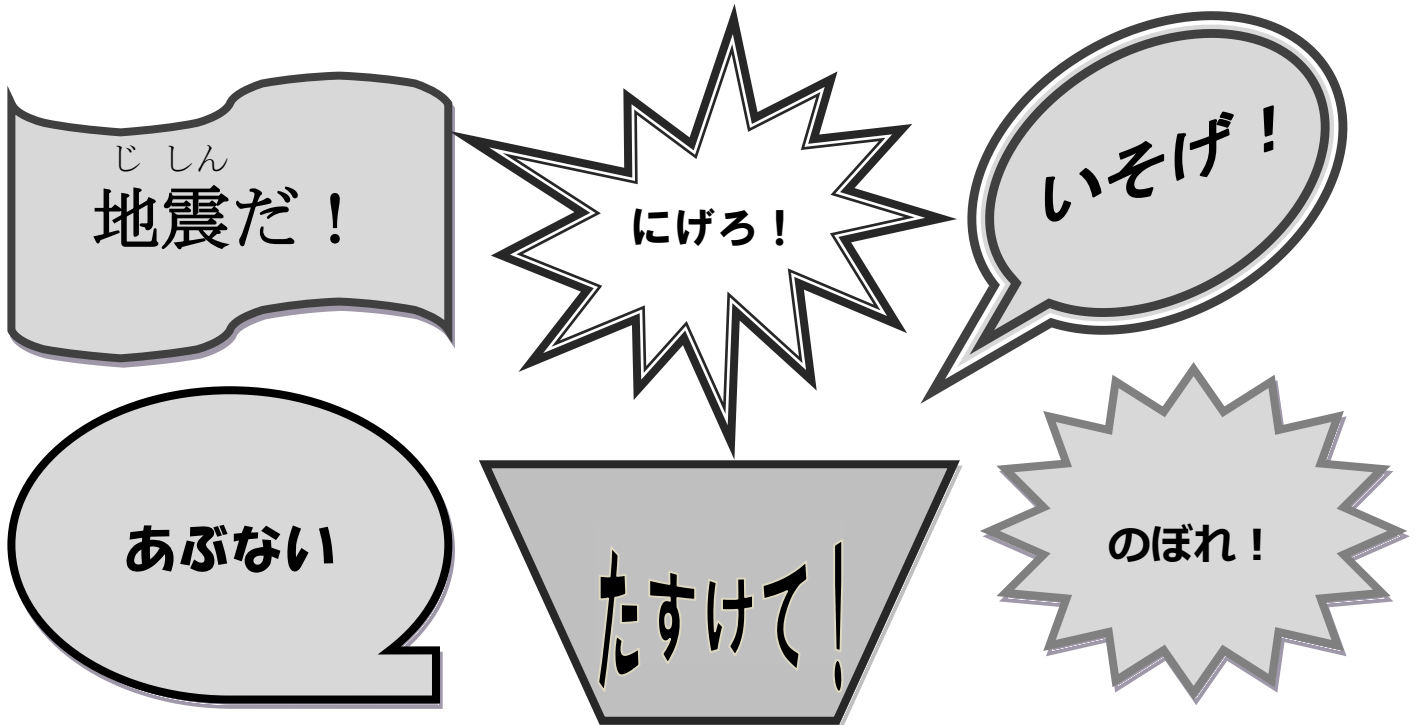
ね じかん じしん お
 みんなが まだ寝ている時間に地震が起きました。

こわ たてももの かぐ した な ひと
 だから、壊れた建物や家具の下になって、亡くなった人が

たくさんいました。

<p>ひがしにほんだいいしんさい 東日本大震災</p>	<p>キーワード</p> <p>つなみ 「津波」</p>
<p>06</p> 	<p>へいせい ねん がつ にち じ ぶん 平成23（2011）年 3月11日 14時46分</p> <p>おお じしん お かいがん つなみ く 大きな地震が起きると、海岸に【津波】が来ることがあります。</p> <p>ます。</p> <p>ひがしにほん たいへいようがん じしん お 東日本の太平洋岸で地震が起きました。</p> <p>じしん お ぶん おお つなみ き 地震が起きてから、30分くらいでとても大きな津波が来ました。</p> <p>じしん ひと つなみ な この地震では、たくさんの人が津波で亡くなりました。</p>

☆ さいがい とき つか 災害の時に使われることば：キーフレーズ ☆



1 地震が起きる前にする行動

いま
「今できることを、しましょう」

1 家族で話し合いましょう。

- ◆ 家族の連絡先を書きましょう。
- ◆ 家族が集まる場所を決めましょう。
- ◆ 連絡がとれないときは、災害用伝言サービスを使いましょう。

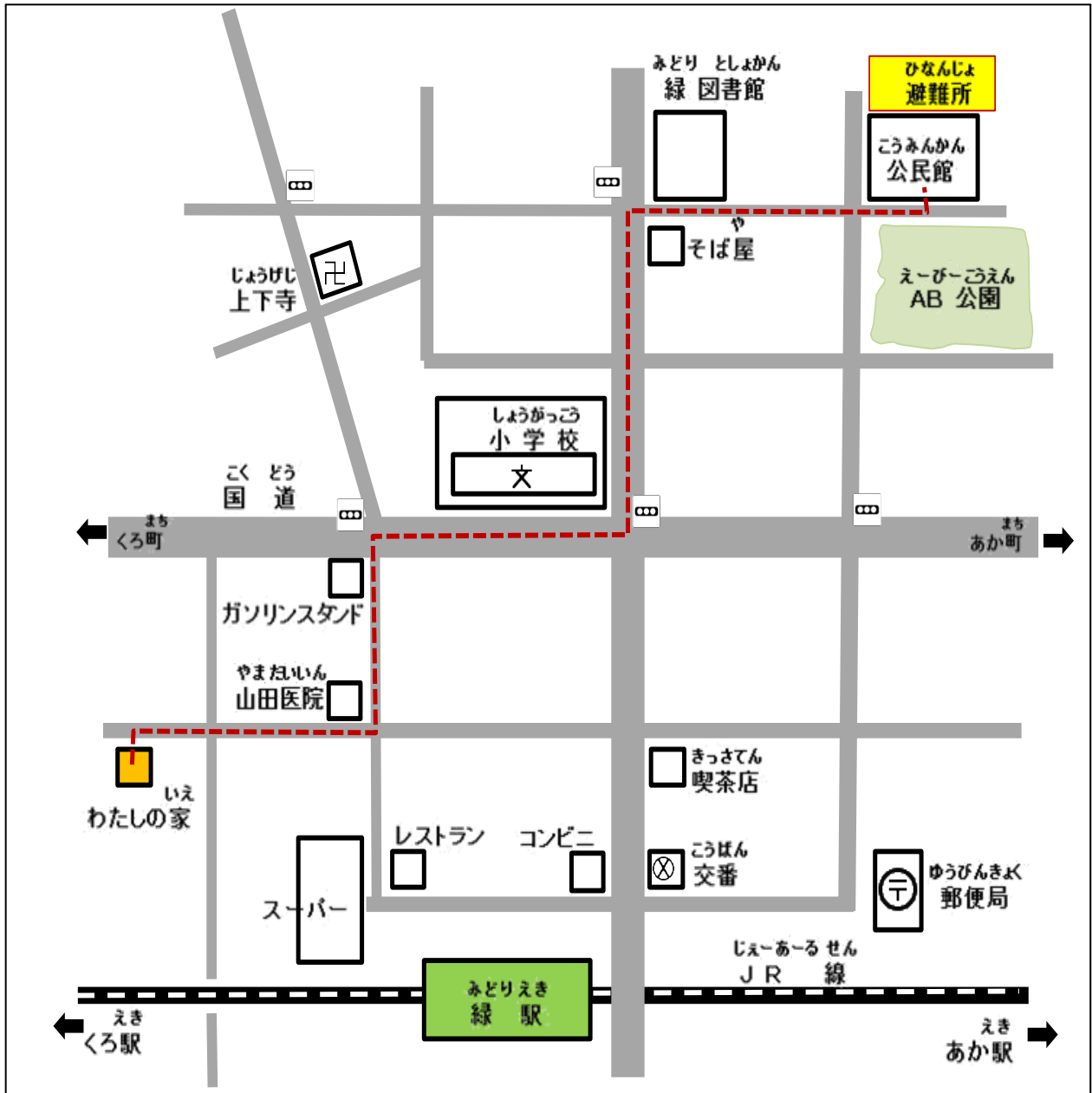
さいがいじれんらく せい
災害時連絡カード② の例

ようごせつめい
(用語説明 P.27)

	けいたいでんわばんごう 携帯電話番号	しごとば でんわばんごう 仕事場の電話番号	めも メモ
わたし			
おとうさん			
おかあさん			
がっこう 学校			

はな ことば 話せる言葉	
にほん きんきゆうれんらくさき 日本の緊急連絡先	れい 例：本町小学校の TEL など
こくがい きんきゆうれんらくさき 国外の緊急連絡先	
かぞく あつ 家族が集まる場所	

◆ ^{ちか} ^{ひなん} ^{ひなんじよ} ^{ある} 近くの避難するところ（避難所）まで歩いてみましょう。



ちきゅう こきょうしつさくせいいらすと けいさい
地球っ子教室作成イラストを掲載

※ ^{よこはま} ^{ひなんじよ} ^{してい} ^{しりつ} ^{しょうちゅうがっこうなど} 横浜市では避難所は指定された市立の小中学校等です。



← まち なか ひょうしき み
町の中で、こういう標識を見たことがありますか。

これは地震から命や体を守るために一時的に避難する「広域避難場所」等で使われている

マークです。近くにある避難場所は、区役所のホームページや防災マップでわかります。

2 わたし（ぼく）の家の中。危ないところは、どこですか。

3 家の危険箇所をチェックしてますか？

- 家の耐震化**
 - 横浜市では無料での耐震診断や改修費用の一部補助などの事業を行っています。
 - 横浜市の耐震関連事業の問合せ先 (⇒P.27)
- 玄関、廊下の注意点**
 - 玄関、廊下には物を置かず、避難口を確保する。
- リビングの注意点**
 - テレビ、ピアノを固定する。
 - 吊り下げ式の照明器具はチェーンで固定する。
 - ストーブは、耐震装置が付いているものを使用する。
 - 仏壇のろうそくは、倒れないように固定する。
- 寝室の注意点**
 - 寝室に極大家具を置かない。
 - 寝ている側に倒れてこないよう位置を工夫する。
 - ドア付近に家具を置かない。
 - 本棚はしっかりと固定し、中身が飛び出さないようにする。
 - 重いものは下に入れる。
- 台所の注意点**
 - 食器棚の固定と食器の飛び出し防止措置をする。
 - ガラス戸には、飛散防止フィルムを貼る。
 - 冷蔵庫や電子レンジは固定する。
 - 観音開きの扉には、止め金具を付ける。
- 家の外の注意点**
 - 屋根、アンテナを補強する。
 - プロパンガスボンベを固定する。
 - 植木鉢、プランターを落さないようにする。
 - ブロック塀を補強する。

消火器、住宅用火災警報器を設置しましょう

- 消火器は、初期消火に有効です。
- 住宅用火災警報器は火災の早期発見に有効です。(全ての住宅に設置義務)

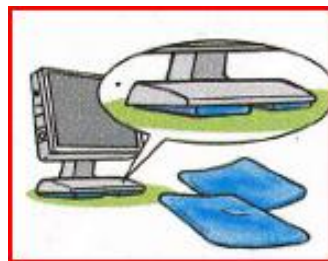
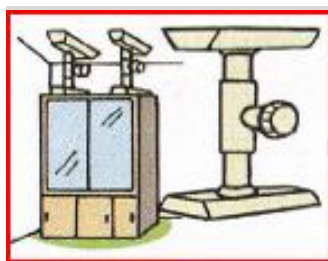
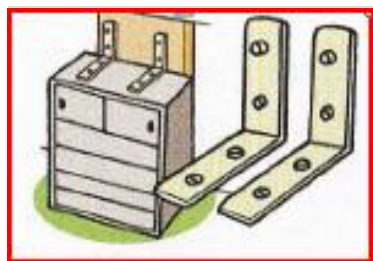


ちきゅう こきょうしつさくせいいらすと けいさい
地球っ子教室作成イラストを掲載

ね へや お お
寝る部屋には、落ちてくるものを置かないようにしましょう。

どあ あ こま どあ もの お
ドアが開かなくなると困ります。ドアのそばには、物を置かないようにしましょう。

あんぜんたいさく へや なか あんぜん くふう
安全対策 : 部屋の中が安全になるように、工夫しましょう。



ほん かぐ てれび じしん
本だな・家具・テレビなどを、地震でたおれないよう“しっかり”とめましょう。

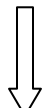
3 **災害用伝言ダイヤルの使い方** ③ (用語説明 P.27)

◆ 地震が起きたら、電話がつながらないことがあります。電話は、かかりにくくなります。

「災害用伝言ダイヤル」の使い方を覚えましょう。

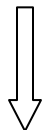
I **伝言の録音方法** (伝えたいことを残しておく方法)

伝言ダイヤル **171**



～ 録音方法の説明 (ガイダンス) が流れます。

「**1**」を押す



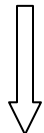
～ 録音方法の説明 (ガイダンス) が流れます。

(X X X) ○ ○ ○ — △ △ △ △ (自分の家の電話番号や

じぶん いえ でんわばんごう
れんらく ひさい ひと いえ でんわばんごう
連絡をしたい被災した人の家の電話番号)

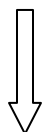
II **伝言の再生方法** (預かっている伝言を聞く方法)

伝言ダイヤル **171**



～ 録音の聞き方の説明 (ガイダンス) が流れます。

「**2**」を押す



～ 録音の聞き方の説明 (ガイダンス) が流れます。

(X X X) ○ ○ ○ — △ △ △ △ (伝言を聞きたい人の家の電話番号)

さいがいようでんごん さーびす いえ でんわ こうしゅうでんわ けいたいでんわ
☆ 災害用伝言サービスは、「家の電話」「公衆電話」「携帯電話」、どれでも使えます。



いえ でんわ
家の電話



こうしゅうでんわ
公衆電話

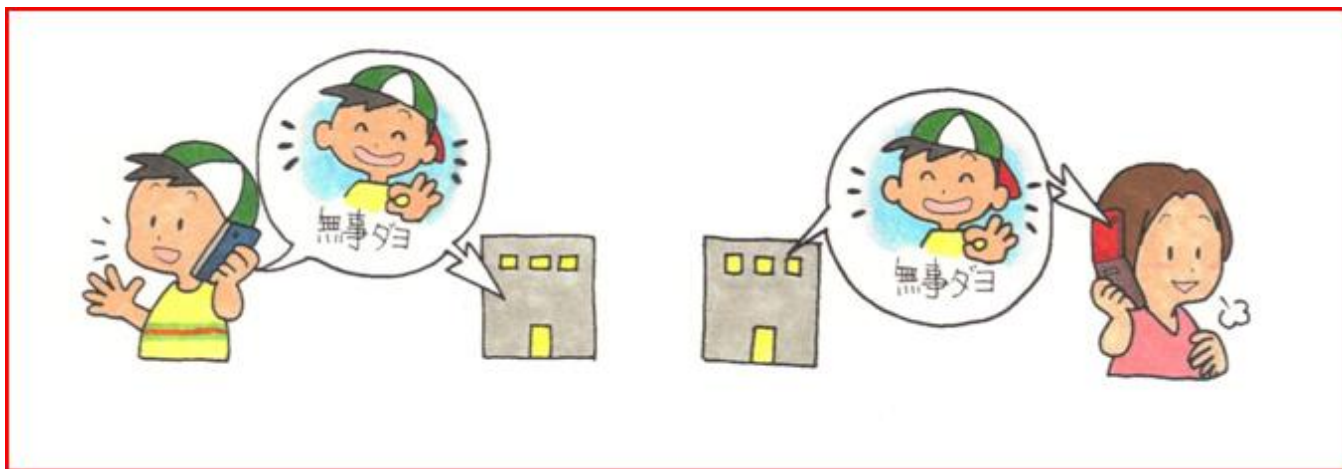


すまーとふおん
スマートフォン



けいたいでんわ
携帯電話

でんわ つか かた そうむしょう さいがいようでんごん
それぞれの電話のくわしい使い方は、総務省の「災害用伝言サービス」のホームページを見て
ください。



ちきゅう こきょうしつさくせいいらすと けいさい
地球っ子教室作成イラストを掲載

4 ひ じょう よう も だ ぶくろ び ちくひん
非常用持ち出し袋と備蓄品 ④ (用語説明 P.28)

じしん あと どうろ こわ たお くるま とお
 地震の後は道路が壊れたり、ものが倒れたりして車が通れません。

とど か もの
 それで、ものが届きません。買い物ができません。

でんき つか みず で
 また、電気が使えなかったり、水が出なかったりします。

び ちくひん ようい
 ・ 備蓄品を用意しておきましょう。

み っ か ぶ ん た もの み ず こま じゆん び
 3日分の食べる物・水、あなたにとって、ないと困るものを準備しましょう。

ひ じょう も だ ひん り ゆ っ く ふくろ い
 ・ 非常持ち出し品をリュックなどの袋に入れておきましょう。

の くすり こま なん
 いつも飲んでいる薬や、ないと困るものは何ですか。

じ ぶ ん も おも
 自分で持つことができる重さにしましょう。



非常持出品と備蓄品

●が付いているものは、避難生活に最低限必要な非常持出品です。
必要量をリュック等に入れて非常時には、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

項目	品名	チェック欄	項目	品名	チェック欄
水	●水缶・ペットボトル		医薬品等	傷薬、目薬、消毒薬	
	水筒			風邪薬、胃薬	
食料品	●簡易食料(ゼリー飲料等)		●常備薬(おくすり手帳)		
	インスタント・レトルト食品		●携帯ラジオ(予備電池含む)		
	缶詰 (缶切りを使わなくても開くもの)		●懐中電灯(予備電池含む)		
	保存食品		●携帯電話充電器		
食器用具	●皿・コップ(紙・プラスチック)		使い捨てカイロ		
	割りばし・スプーン・フォーク		マッチ、ライター		
	缶切り、ナイフ		ポリタンク		
	鍋、カセットコンロ		スリッパ等		
衣類等	上着、下着類		●軍手		
	●帽子、ヘルメット		ロープ、ガムテープ		
	毛布		ビニールシート、敷物		
	雨具、傘		ゴミ用ビニール袋		
乳幼児用品	粉ミルク、離乳食		●スーパーのビニール袋		
	ほ乳びん		ラップ、アルミホイル		
	紙おむつ、おしりふき		●筆記用具、メモ帳		
清潔維持用品	●トイレパック(携帯トイレ)		予備メガネ		
	トイレトペーパー		ホイッスル		
	●洗面用具、タオル		●現金(小銭も)		
	石鹸・シャンプー		預金通帳、有価証券類、印鑑		
	●ティッシュ、ウエットティッシュ、マスク		健康保険証の写し		
	除菌スプレー		●身分証明書		
	生理用品		●各家庭・各人で必要なもの (例)入れ歯、乳幼児のおもちゃ		
医薬品等	ガーゼ、包帯、ばんそうこう、三角巾		その他		

<p>げんきん 現金</p>	<p>あんぜんかーど 安全カード</p>	<p>かぎ</p>
		
<p>みねらるうおーたー ミネラルウォーター</p>	<p>くらっかー かんぱん クラッカー・乾パン など</p>	<p>かんづめ・かんきり</p>
		
<p>わりばし</p>	<p>すぷーん ふおーく スプーン・フォーク</p>	<p>こっぷ さら かみ ぶらすちっく コップ・皿 (紙・プラスチック)</p>
		
<p>べつとふーど ペットフード</p>	<p>はさみ・ばんそうこう・くすり</p>	<p>よび でんち 予備の電池</p>
		

<p>かっぱ れとるとしよひん カップめん・レトルト食品</p>	<p>もち</p>	<p>かし お菓子</p>
		
<p>けいたいらじお 携帯ラジオ</p>	<p>かいちゆうでんとう 懐中電灯</p>	<p>けいたいでんわ じゆうでんき 携帯電話・充電器</p>
		
<p>ぼうさい へるめっと 防災ずきん・ヘルメット</p>	<p>ますく マスク</p>	<p>ぐんて ごむてぶる 軍手・ゴム手袋</p>
		
<p>びにーるぶくろ ビニール袋</p>	<p>ひっきようぐ 筆記用具</p>	<p>ほいっする ホイッスル</p>
		

<p>たおる はんかち タオル・ハンカチ</p>	<p>ろうそく</p>	<p>ていっしゅ うえつとていっしゅ ティッシュ・ウェットティッシュ</p>
		
<p>とわれつとべーぼー トイレットペーパー</p>	<p>しんぶんし がむてーぶ 新聞紙・ガムテープ</p>	<p>たくじょうがすこんろ 卓上ガスコンロ</p>
		
<p>ぼうかんぐ 防寒具</p>	<p>きが ようしたぎ 着替え用下着</p>	<p>あまく れいんこーと 雨具 (かさ・レインコート)</p>
		
<p>せいりょうひん 生理用品</p>	<p>こんたくとれんず めがね・コンタクトレンズ</p>	<p>ほちょうき 補聴器</p>
		

ちきゅう こきょうしつさくせいいらすと けいさい
地球っ子教室作成イラストを掲載

2 地震が起きた時にする行動

「その場所に ^{ばしょ}あわせて、^{からだ}体を ^{まも}守りましょう」

1 ^{いえ なか}家の中にいたら？



◆ ^お落ちてくるものを、^さげます。

^くクッションや、^ままくらなど、^{ちか}近くにあるもので

^ああたま ^{まも}まも
頭を守ります。



◆ ^ああわてて、^{そと}外に出てはいけません。

^ううえ ^おお ^おお
上から落ちてくるものも多いので

^{そと}そと ^でで
外に出てはいけません。

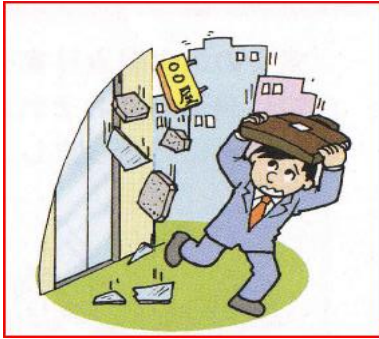


◆ ^どドア ^あをあけましょう。

^どど ^ああ
ドアを開けて、

^{そと}そと ^でで
外に出られるようにしましょう。

2 ^{いえ そと}家の外にいたら？



◆^{あたま まも}かばんなどで、**頭**を守ります。

^{まち お おお}町では、落ちてくるものが多いので、

^{たてもの はな}建物から離れましょう。



◆^{あぶ はな}危ないものから、**離**れます。

^{たお}倒れたりするかもしれないので、

^{じどうはんばいき はな}自動販売機や「へい」から離れましょう。

07



◆^{じめん お}地面が落ちてしまったり、

^わ**割**れてしまうことがあります。

^{えきじょうか げんじょう}
(液状化現象)

08



^{じしん じめん やわ}地震で、地面が柔らかくなります。

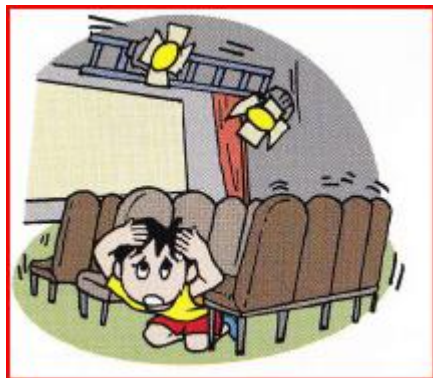
^{じめん あな ちか}地面の穴に、近づいてはいけません。

3 がっこう 学校にいたら？

こうもく ちきゅう こきょうしつ さくせい
※この項目は地球っ子教室で作成しました

がっこう じしん お かって こうどう
学校にいるときに地震が起きたら、勝手な行動をしてはいけません。

せんせい い き
先生の言うことを、よく聞きましょう。



あたま まも
頭を守ります。



つくえ した はい
机の下に入ります。

ぼうさい ず きん
◆ 防災頭巾を、かぶりましょう。



ちきゅう こきょうしつ さくせい い ら す と けいさい
地球っ子教室作成イラストを掲載

◆「お・か・し・も」を守りましょう。
まも



おさない

まえ ひと
前の人を、おしてはいけません。



かけない

はし
あわてて走ると、ころんでしまいます。



しゃべらない

ともだち はなし 友達と話をしないで、
ひなん だまって避難します。

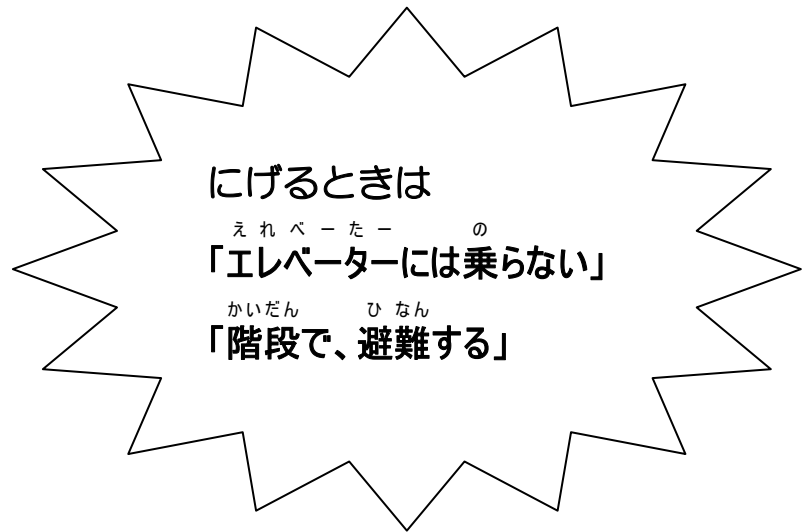
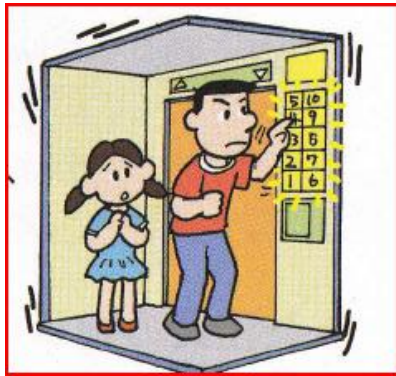


もどらない

もの と きょうしつ
物を取りに、教室にもどりません。

4 え れ べ ー た ー な か
エレベーターの中にいたら？

- ★ すぐには外に出られないかもしれません。
- ★ 外に出られなくても、あわてないで落ち着いて行動しましょう。
- ★ 全部の階のボタンを押しましょう。エレベーターが止まったら外に出ましょう。



5 の も の な か
乗り物の中にいたら？

- ◆ 急ブレーキ（電車が急にとまります）に、そなえましょう。
- ◆ 乗務員や駅係員⑤の言うことを聞いて、勝手な行動は、やめましょう。

ようごせつめい
(用語説明 P.28)



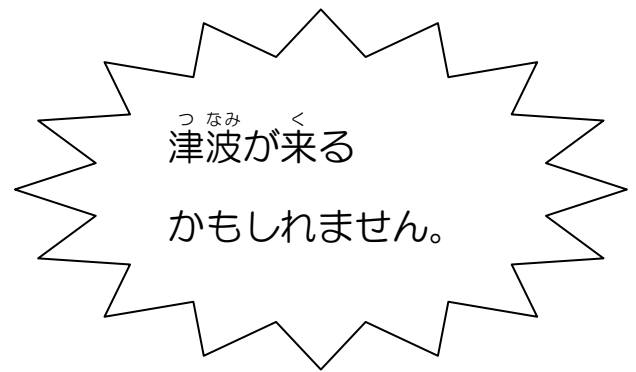
6 ^{うみ やま かわ ちか} 海や山や川の近くにいたら？

◆ ^{うみ} 海にいたら？

できるだけ^{はや}早く、できるだけ^{たか}高いところに^に逃げましょう。

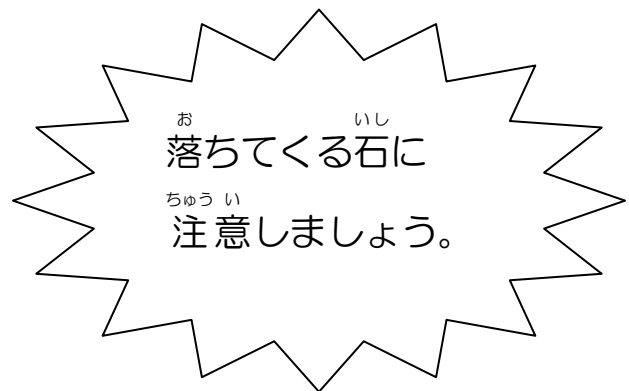
^{つ なみ}津波警報が^{かいじよ}解除[◎]になるまで、^{かいがん}海岸に^{ちか}近づいてはいけません。

(用語説明 P. 28)



◆ ^{やま} 山にいたら？

がけがくずれる^{はな}かもしれません。がけから離れましょう。



◆ ^{かわ ちか}川の近くにいたら？

^{かわ みず きゅう おお}川の水が急に多くなるかもしれません。^{かわ いそ はな}川のそばから急いで離れましょう。



^{ど せきりゅう}
土石流 ⑦ ^{ようごせつめい} (用語説明 P. 28)
^おが起きるかも
しれません

3 地震が起きた後にする行動

ただ じょうほう に ゆ - す こうどう
「正しい情報（ニュース）で 行動しましょう」

1 まず、することは？

- ◆ ゆれているときは、まず安全な所あんぜん ところにいきましょう。
- ◆ 大きいゆれがなくなったら、火ひを消けしましょう。

2 正しい情報（ニュース）で行動しましょう。

- ◆ ラジオでニュースに ゆ - す きを聞ききましょう。



- ◆ 自治体じちたい（市しや区くなど）、消 防しょうぼう、警 察けいさつなどからの情 報じょうほうを聞ききましょう。

3 ^{いえ かえ}家に帰れなくなった時は？ ^{とき}

- ◆ ^{じしん あと}地震の後は、^{ある}あちこち歩きまわらないようにしましょう。
- ◆ ^{おお}大きい地震の後は、^{じしん あと}電車は^{でんしゃ うご}動きません。



^{えき}駅には^{ちか}近づかないようにしましょう。

^{えき}駅は^{こんざつ}混雑します。

- ◆ ^{ひろ}広い道や^{おお}大きい道を^{みち ある}歩いて^{かえ}帰りましょう。

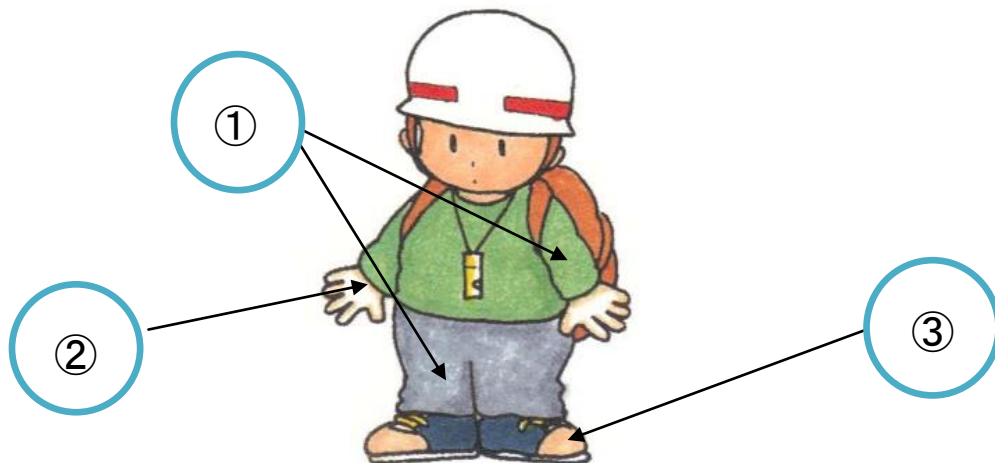
4 ^{いえ}家がこわれたり、^す住めないときは？



- ◆ ^{ひなん}避難するところ（^{ひなんばしょ}避難場所）に^い行きましょう。

- ◆ ^{いえ}家が壊れていないときや^{かじ}火事でないときは、^{ひなん}避難しなくても^{だいじょうぶ}大丈夫です。

◆ ^{ひなん}避難するときは、^{なに き}何を着ますか？



ちきゅう こきょうしつさくせいいらすと けいさい
地球っ子教室作成イラストを掲載

- ① ^{なが}「長そで」「^{ながずぼん}長ズボン」を、^き着ましょう。 ② ^{てぶくろ}「手袋」を、しまししょう。
- ③ ^{すにかー}くつは「スニーカー」「^{うんどうぐつ}運動靴」を、はきまししょう。

◆ ^{ひなん}避難するときに^き気をつけることは、^{なん}何ですか？

^{きょうりょく}みんなで協力して、^{ある}歩いて^{ひなん}避難しまししょう。

^{にもつ}荷物を^{ても}手で持たないで、^{りゅっく}リュックなどに^い入れて^{せお}背負いまししょう。



ちきゅう こきょうしつさくせいいらすと けいさい
地球っ子教室作成イラストを掲載

どこに避難する？



※自宅建物が火災や倒壊の危険がないときは、あえて避難の必要はありません。

いつとき避難場所

大地震が発生したら、地域防災拠点に避難する前に、近くの学校、公園、広場など安全な場所に避難します。

広域避難場所

地震による火災が多発し延焼拡大した場合、熱や煙から生命・身体を守るため一時的に避難する場所です。
(大きな公園やグラウンド等)



地域防災拠点(避難所)

家屋の倒壊などにより自宅に戻れない場合に避難生活を送る場所です。
(あらかじめ指定された市立の小・中学校等)⇒P.26参照

地域医療救護拠点

発災から3日間程度応急医療を行う救護場所です。
(地域防災拠点の一部に併設)

必要に応じて

特別避難場所

高齢者や障がい者など、避難生活に特別な配慮を必要とする人のための二次的避難場所です。
(社会福祉施設等)

よこはまし いちれい
※これは横浜市での一例です。

用語説明

※この「書き換え版」で使った地域防災拠点等の用語は「横浜市」で用いられている用語です。

げんさい 減災	
さいがい お ひがいで ひがいで ちい ひ そな	災害が起きると被害が出ます。その被害をできるだけ小さくするように日ごろから備えること。

ぶれーと プレート	
たいりく かいてい いちばんうえ がんぼん	大陸や海底にある一番上の岩盤。
にほんれつとう ほくべいぶれーと ゆーらシアぶれーと ふた ちかく ふいりびんぶれーと	日本列島は北米プレートとユーラシアプレートの二つの地殻にまたがり、フィリピンプレート
たいへいようぶれーと しずこ ほうこう つよ あつしゆく	あるいは太平洋プレートの沈み込みによって、2方向から強く圧縮されています。

さいがいじれんらくかーど 災害時連絡カード	
さいがい お とき れんらく と	災害が起きた時に、すぐに連絡が取れるように、
とう かあ がっこう れんらくさき でんわばんごう か	お父さん・お母さん・学校などの連絡先(電話番号)を書いておきましょう。
かーど かたち も	カードの形にして、いつも持っているようにしましょう。

さいがいようでんごんだいやる 災害用伝言ダイヤル	
さいがいはっせいじ ひさいち つうしん そうか じょうきょう ばあい	災害発生時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に
ていきょう かいし こえ でんごんぼん でんごん ろくおん さいせい ひさいち ひと でんわばんごう ひつよう	提供が開始される声の伝言板。(伝言の録音・再生は被災地の人の電話番号にする必要があります。その
ばんごう しがいきょばん ほじ ばんごう	番号は市外局番から始まる番号になります。)

<p>ひじょうも だ ひん び ちくひん 非常持ち出し品 ・ 備蓄品</p>	
<p>ひじょうも だ ひん さいがい お ひなん も 非常持ち出し品 : 災害が起きて、避難するときに持っていく。</p> <p>じぶん ひつよう こま 「自分にとって必要なもの・ないと困るもの」</p> <p>び ちくひん さいがい そな じぶん いえ ひつよう じゅん び 備蓄品 : 災害に備えて、自分の家で必要なものを準備します。</p> <p>しなもの び ちくひん それらの品物を「備蓄品」といいます。</p>	

<p>じょう む いん えきかかりいん 乗務員・駅係員</p>	
<p>じょう む いん でんしゃ うんてん うんてんしゅ ど あ あ し しゃしょう でんしゃ の 乗務員 : 電車を運転する運転手やドアを開けたり閉めたりする車掌など電車に乗って</p> <p>てつどうがいしゃ ひと いる鉄道会社の人</p> <p>えきかかりいん かいさつぐち ほ - む えき はたら てつどうがいしゃ ひと 駅係員 : 改札口やホームなど駅で働いている鉄道会社の人</p>	

<p>つ なみけいほう かいじょ 津波警報 解除</p>	
<p>つ なみけいほう つ なみ く に し 津波警報 : 「津波が来るから逃げなさい」という知らせ</p> <p>けいほう かいじょ あんぜん し 警報の解除 : 「もう安全です」という知らせ</p> <p>つ なみけいほうかいじょ つ なみ きけん し 津波警報解除 : 「津波の危険がなくなりました」という知らせ</p>	

<p>ど せきりゅう 土石流</p>	
------------------------	--

やま

どしゃ いし いちど お なが

山からたくさんの土砂や石が一度に押し流されてくること

さいがい ひょうしき まーく
◆ 災害にかかわる標識やマーク





ひょうしき まーく ひなん ぼしよ し
このような標識やマークで避難の場所を知らせます。

【写真を提供していただいたサイト、団体、個人の方】

01: 東日本大震災支援情報ブログ 4月29日, 石巻の写真

<http://east-japan-quake.info/jp/2011/05/4-29.html#more>

02: 災害写真データベース、阪神・淡路大震災

http://www.saigaichousa-db-isad.jp/drsdb_photo/photoSearch.do

03、04: 横浜中央図書館所蔵 (デジタルアーカイブ) (PC01099) (PC00253)

<http://www.lib.city.yokohama.lg.jp/Archive/>

05: 1995.1.17 阪神大震災著作権フリー記録写真集

<http://www.asahi-net.or.jp/~LC1T-KYM/SMALL/haninbmp.htm>

06: 津波映像や避難行動の写真等の収集と公開

<http://311archives.jp/index.php?gid=10129>

07: 東日本大震災支援情報ブログ; 5月1日, 気仙沼の写真 (古川-気仙沼間をふくむ)

<http://east-japan-quake.info/jp/2011/05/5-1-K.html#more>

08: 坪倉紗智子(個人所蔵)

※「災害にかかわる標識やマーク」は、地球っ子教室のリライト担当者が撮った写真です。

あとがき

この冊子は 文化庁：平成 24 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラムの委託を受けて、**横浜市消防局作成「減災行動のススメ」**を外国につながる小学生中学生が理解できるように、わかりやすく書き変えました。作成に当たり、横浜市消防局の多大なご協力をいただきました。また公益財団法人横浜市国際交流協会の方々にご協力いただきました。合わせて感謝申し上げます。

コーディネーター：辻 雅代

書き換え担当：地球っ子教室（小河千咲子・小林節子・小林とも子・小山いずみ・辻雅代・廻谷朋美）

イラストレーター：細川 倫子

【連絡先】

特定非営利活動法人 地球学校

地球っ子教室 担当理事 辻 雅代 E-mail：chikyu-co@chikyu-gakko.org

◆事務所 〒247-0007 横浜市栄区小菅ケ谷 1 - 2 - 1 地球市民かながわプラザ 1 階（あーすぶらざ）

◆NPO法人 地球学校 ホームページ <http://www.chikyu-gakko.org/>

◆NPO法人 地球学校 ブログ <http://blog.canpan.info/chikyu-gakko/>

【出典】

『できることから今すぐに 減災行動のススメ』

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/pamphlet/pamphlet.html>

横浜市消防局 予防課・危機管理課（平成 23 年 11 月第 2 版発行）より書き換え